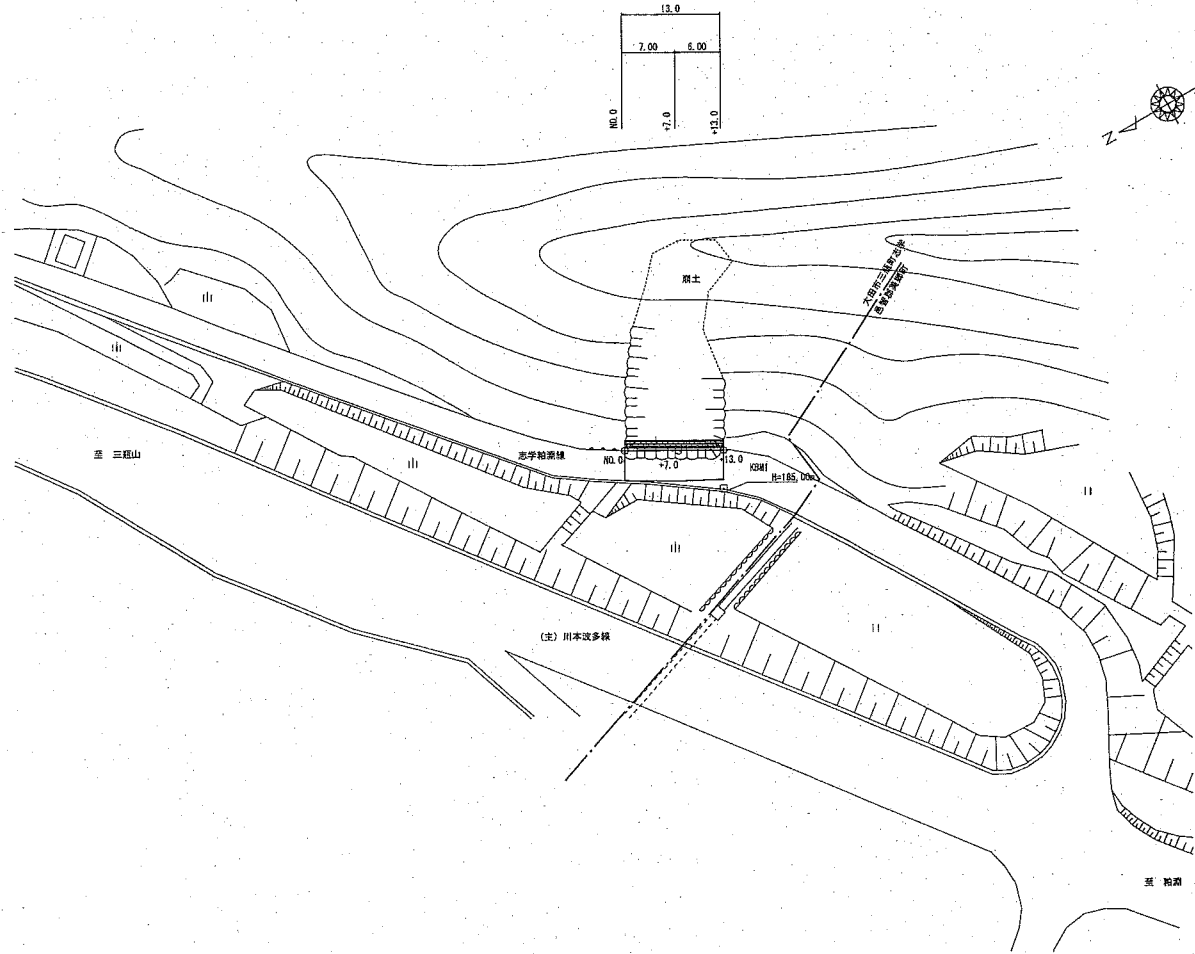
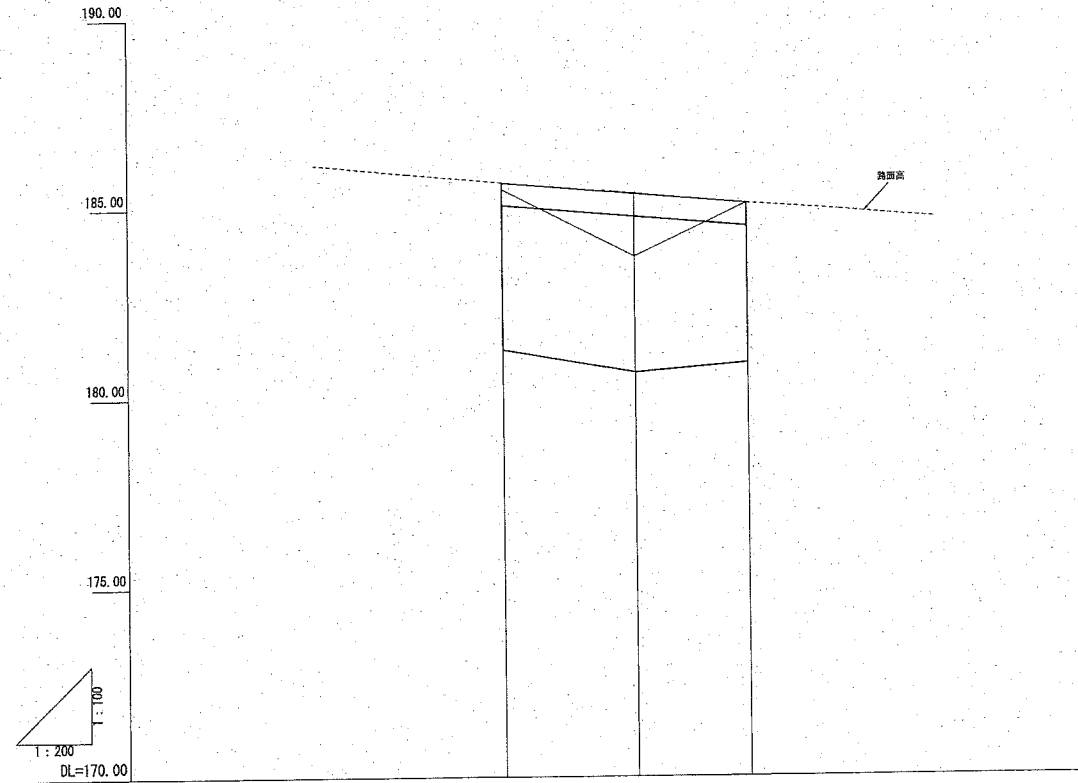


平面図
S=1:500



縦断面図
縦S=1:100
横S=1:200

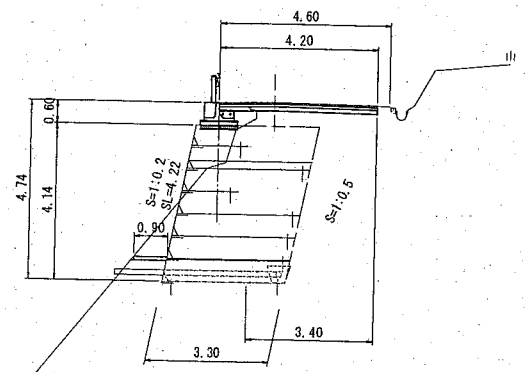


計	勾配	185.63 \swarrow 4.1% \searrow 185.10 L=13.0m		
	盛土			
面	切土			
	計画高	185.63	185.34	185.10
地盤高	185.69	183.70	185.09	
追加距離	0.00	7.00	13.00	
単距離	0.00	7.00	6.00	
測点	NO.0	+7.0	+13.0	

実施

年度	平成 28 年度
番 号	28 災 第 183 号
工事名	災害復旧工事
道川港名	志学港線
施工箇所	大田 郡 三蔵 村 志学 地内
図面名称	平面図 縦断面図 縮尺 図示
測 量 者	会 社 及 び 責 任 者
測 図 差	
設 計	

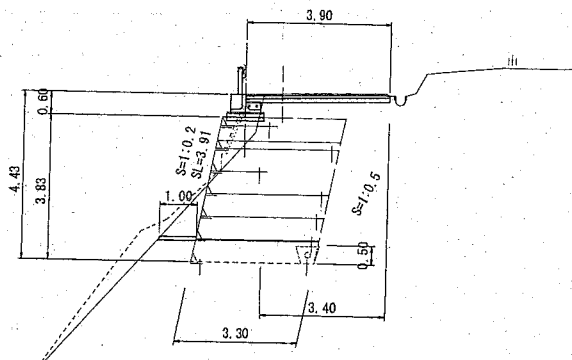
+7.0
FH=185.34
GH=183.70



C = 15.6
B = 0.2
E = 2.2
F = 4.1

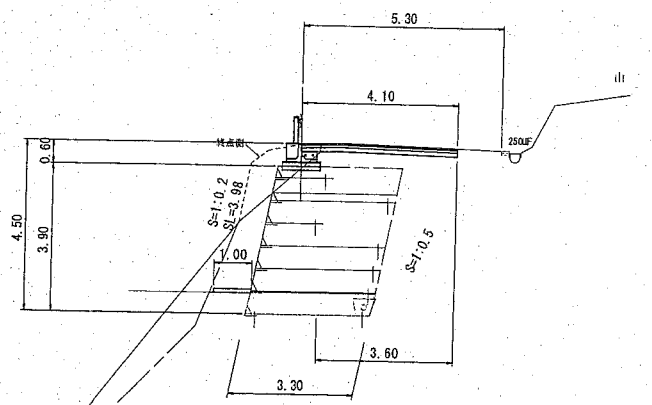
D=7.00

NO. 0
FH=185.63
GH=185.49



C = 14.7
B = 0.0
E = 2.2
F = 4.0

+13.0
FH=185.10
GH=185.09



C = 17.2
B = 0.0
E = 2.2
F = 4.0

DL=165.00

粘土

DL=165.00

粘土

DL=165.00

粘土

D=6.00 実施

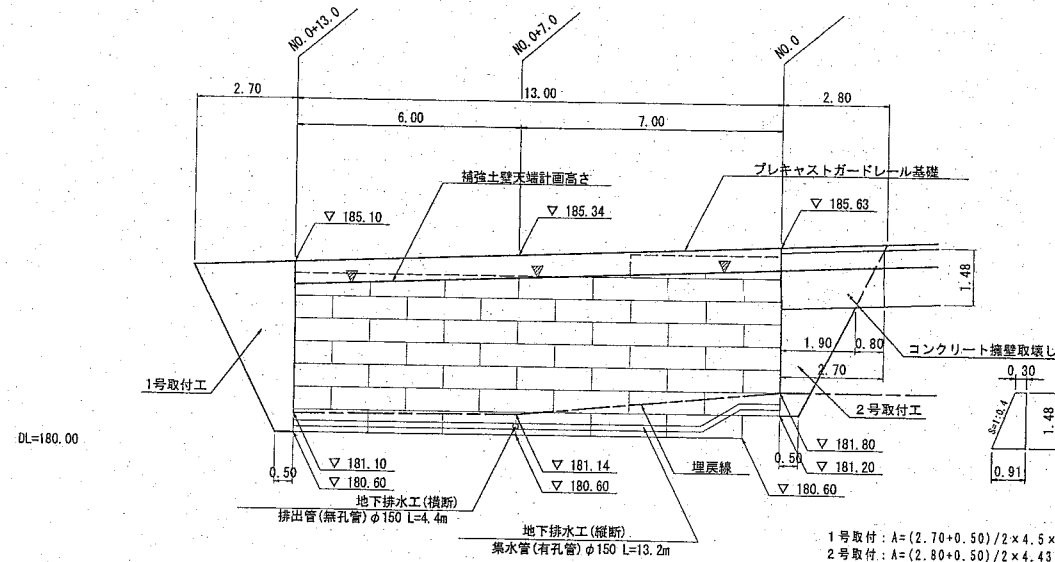
年度	平成 28 年度
番号	28災第183号
工事名	災害復旧工事
選川港名	志学輪廻線
施工箇所	大田 三郷 志学 地内
図面名称	横断面図
縮尺	縮尺 図示
調査	会社及び責任者
設計	

ジオグリッド補強土壁工

展開図

S=1:100

▽ カルドレン C-300



壁高: H	4.20	4.80	4.20
敷設長: W	3.30	3.30	3.30
区間長: L	9.00	3.00	1.00
ジオグリッド補強土壁工 L=13.00m			

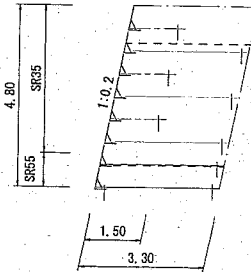
1号取付: A=(2.70+0.50)/2×4.5×1.020=7.3m²
 2号取付: A=(2.80+0.50)/2×4.43×1.020=7.5m²

敷設図

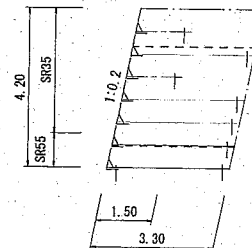
S=1:100

H=4.80m

H=4.20m



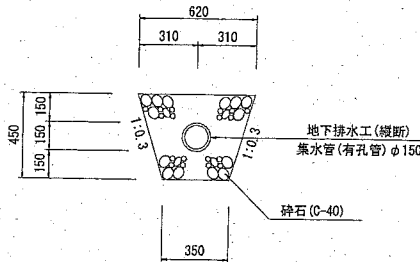
まきだし=13.9
 基礎排水溝=2.0



まきだし=11.9
 基礎排水溝=2.0

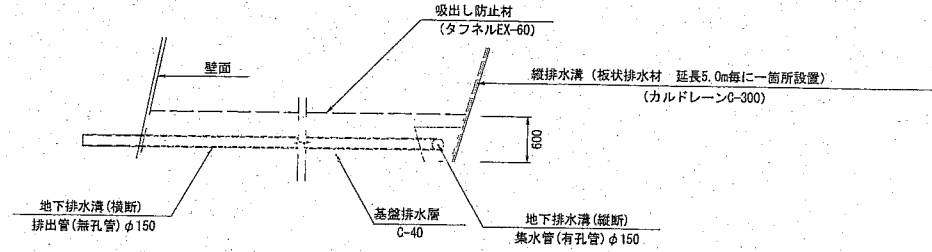
地下排水工(縦断)

S=1:20



排水工詳細図

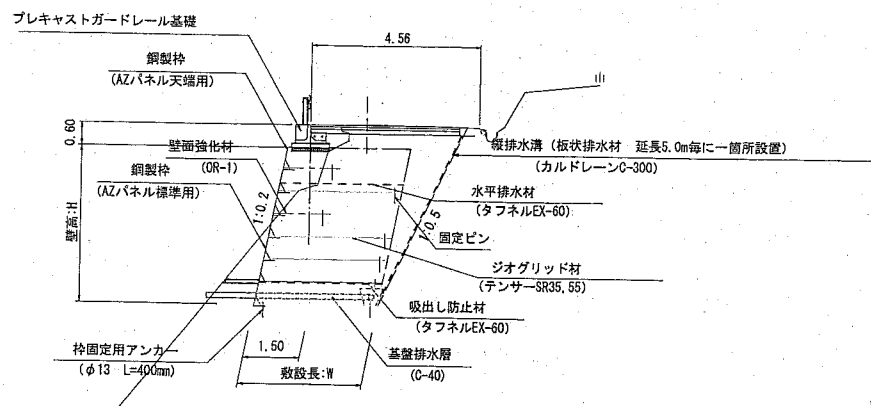
S=1:50



標準断面図

S=1:100

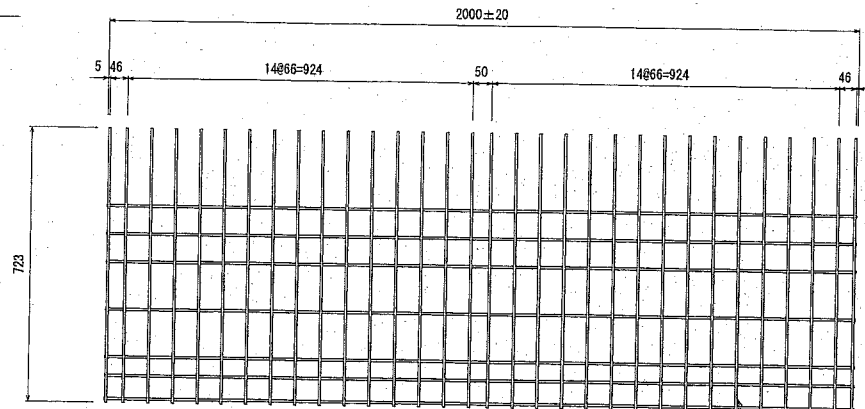
NO. 0+7.00付近



鋼製枠 (AZパネル) 詳細図

正面図

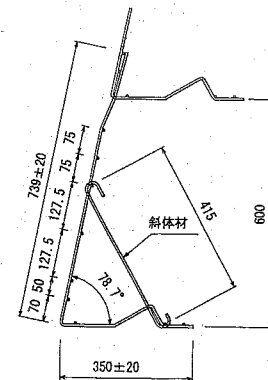
S=1:10



※天端用は天端保護キャップが付属

側面図

S=1:10



土質	地質	10.0M/m ²
土質	地質	1.0M/m ²
土質	地質	18.0M/m ²
土質	地質	0.0M/m ²
土質	地質	35°
土質	地質	0.13
土質	地質	0.09
土質	地質	114.0M/m ²
土質	地質	106.0M/m ²

補強土壁工 全体数量表

名称	単位	数量
鋼製枠 (AZパネル (標準用))	セット	40.5
鋼製枠 (AZパネル (天端用))	セット	4.5
補強材	m ²	131.2
補強材	m ²	87.5
壁面強化材	m ²	44.4
水平排水材	m ²	85.8
吸出し防止材	m ²	8
固定ピン	本	188
枠固定用アンカ	本	26
基礎排水層	m ²	26.0
地下排水溝	式	1

- 特記事項
1. 壁土材が上記設計条件に該当しない場合、協議の上適切な方法を提示する。
 2. 基礎地盤の支持力の確認を行う。

施工材料について

1. 壁土材の粗粒土上り厚さが20cmまたは20cm以下であるから、粒径25mmまたは20mm以下の壁土材を用いる。また粒径10mmを超える岩塊、空石は、粗粒土化が不十分となるため、建設部付近での使用を要する。
 2. 基・末や壁面等の他有岩塊等は、長期的な壁土の安定を損なう恐れがあるため除去しないようにする。
 3. 壁土材の粗粒土上り厚さが20cmまたは20cm以下であるから、粒径25mmまたは20mm以下の壁土材を用いる。また粒径10mmを超える岩塊、空石は、粗粒土化が不十分となるため、建設部付近での使用を要する。
- 壁土材上の水量調整
1. 地山斜面上り側に雨水が浸入する場合は、壁土と地山の間に地下排水用フィルターを敷き、壁土の外へ排水をする。フィルター材料として適切な透水性の良し切り込み砕石等を敷き均す。排水量によっては有孔管を埋設する必要がある。
 2. 地山の粗粒土においては、壁土の滑動および浸透が生じないように、地山の表土を剥離する。剥離後、作業終了後にコンクリートなどで締め固めを施す。雨水の壁土内への浸透を最小限にとどめるようにする。
- 土のまき出し、締め固め
1. 1層の敷き出し厚さは、試験結果により締め固めを要した場合25cm、試験結果を要しない場合は30cmとす。
 2. 敷き出し作業を行う際は、地盤より1.0m以上離れて壁面に平行に走行する。
 3. 締め固めの強さは、壁面より1.0m以内は経年で小規模なコンパクションマシン等の他の部分については、タイヤローラーや振動ローラーが適している。締め固めについては、出来るだけ大きな密度を確保する事が望ましいが、乾燥密度によって規定する場合はJIS A1210A法、B法で95%以上、D、E法で90%以上を確保する。この場合の乾燥密度は500~1000m³あるいは、1日に1回を目安とする。詳細については、各機種の取扱説明書を参照されたい。

地下排水溝 全体数量表

名称	単位	数量
砕石のり面	m ²	15.4
排水層	m ²	13.2
有孔管	m	4.4
排水層	m ²	1

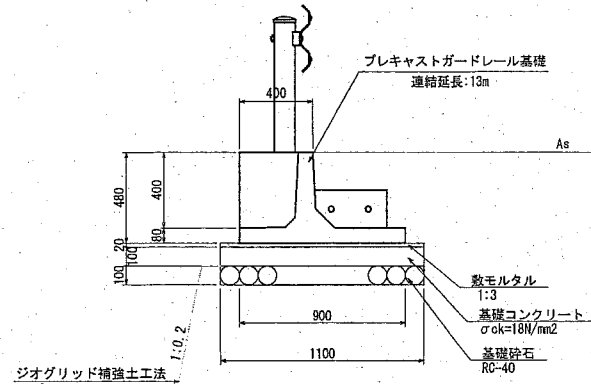
実施

年度	平成 28 年度
番号	28災第183号
工事名	災害復旧工事
道川港名	志学館川
施工箇所	大田 三城 志学 地内
図面名称	構造図
縮尺	図示
調査	会社及び責任者
設計	

プレキャストガードレール基礎工構造図

(ジオグリッド補強土工法)

標準断面図 S=1:20
(参考図)



数量表

L=13.0m当り

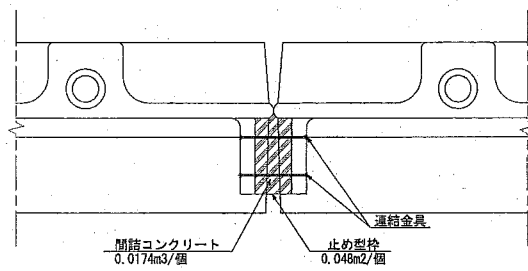
名称	規格	単位	数量	備考
BO-900	L=2000	個	5	W= 666kg
BO-900	L=1500(R)	個	1	W= 518kg
BO-900	L=1500(L)	個	1	W= 518kg

材料表

L=13.0m当り

名称	規格	単位	数量	備考
基礎砕石	RC-40	m ²	14.300	t=100mm
基礎コンクリート	σ _{ok} =18N/mm ²	m ³	1.430	t=100mm
同上型枠		m ²	2.600	
敷モルタル	1:3	m ³	0.286	t= 20mm
間詰コンクリート	σ _{ok} =24N/mm ²	m ³	0.104	
止め型枠		m ²	0.288	

連結部詳細図 S=1:20



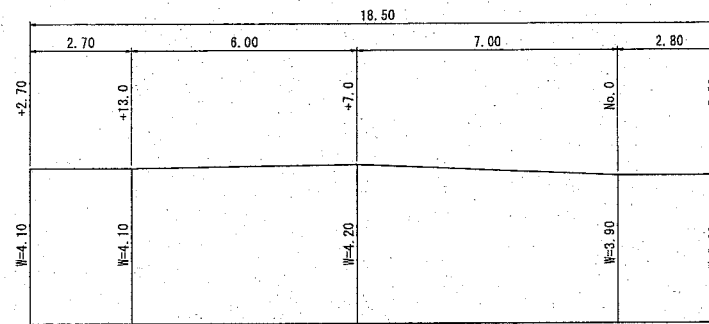
材料表

10m当り

名称	規格	単位	数量	備考
間詰コンクリート	σ _{ok} =24N/mm ²	m ³	0.087	
止め型枠		m ²	0.240	

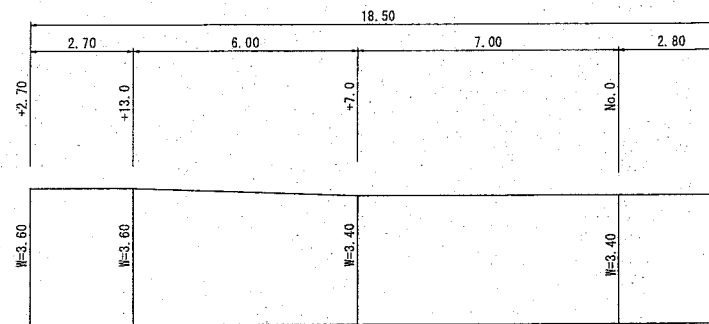
アスファルト舗装 展開図

S=1:100



舗装版破碎 展開図

S=1:100



実施

年度	平成 28 年度
番号	28災第183号
工事名	災害復旧工事
運川地名	志学柏瀬線
施工箇所	大田 三坂 村 志学 地内
図面名称	構造図
	縮尺 図示
製図	会社及び責任者
測量	
調査	
設計	
4 張の内 4	